



医療法人社団 悠翔会
Yushoukai Medical Corporation

2022年7月1日

医療法人社団悠翔会

〒105-0004

東京都港区新橋 5-14-10 新橋スクエアビル7階

Tel : 03-3289-0606 Fax : 03-3289-0607

「悠翔会在宅クリニック新宿」と「ノビシロクリニック藤沢」を開設

～医療法人社団悠翔会が運営するクリニックは全国 21 拠点に～

首都圏で最大規模の在宅医療を提供する医療法人社団悠翔会（本部：東京都港区、理事長：佐々木淳）は、2022年8月1日までに新たに5つのクリニックを開設いたします。これにより、悠翔会が運営するクリニックは、全国に21拠点となります。

医療法人社団悠翔会は2006年に東京・千代田区に最初の在宅医療専門クリニックを開設。以来、「患者の価値観を中心とした医療」を提唱し、現在は、首都圏に18拠点、愛知県に1拠点、鹿児島県に1拠点、沖縄県に1拠点の21クリニックを展開、102名の医師が常時約6,700人の患者さんに24時間体制の在宅総合診療を提供しています。精神科や皮膚科などほぼ全診療科を網羅。認知症ケア、緩和ケア、リハビリ、歯科・口腔ケア、栄養ケアを含む包括的な支援体制を構築し、これまでに3万人を超える患者さんの人生に伴走してきました。昨年は約1700人の患者さんの人生の最期に臨席、うち約1200名の方をご自宅でお看取りしています。

6月1日に開設したケアタウン小平クリニックに続き、7月1日には悠翔会在宅クリニック新宿、ノビシロクリニック藤沢、パナウル診療所を、8月1日には悠翔会ホームクリニック知多武豊を開設いたします。それぞれが、悠翔会が新規開設における要件としている、①潜在患者数ではなく、地域へのインパクトを優先する、②保険診療だけに依存しない、新しい地域医療の形を具現化する、③家庭医療・在宅医療の教育研修拠点として機能する、④首都圏におけるより付加価値の高い在宅医療を提供する、の4つのいずれか、あるいは複数に基づく開設となります。

今回は、新たなクリニックのうち、地域の交流拠点となることをめざす2つのクリニックをご紹介します。

一つ目の悠翔会在宅クリニック新宿は、首都圏における、より付加価値の高い在宅医療の提供に取り組みます。当法人最初のサテライトクリニックとして2008年に開設した「悠翔会在宅クリニック早稲田」と、渋谷区を中心に診療を行ってきた「悠翔会在宅クリニック渋谷」とを統合し、新宿区の南部に移転しての新規開設となります。クリニック中央部に設置した円形のコミュニケーションスペースが特徴で、地域の多職種が学び合える交流拠点として機能することをめざしています。

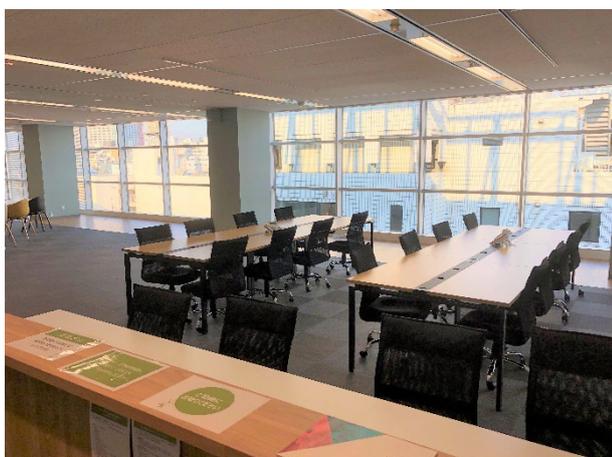
二つ目のノビシロクリニック藤沢は、株式会社あおいけあ（代表取締役＝加藤忠相氏）とのコラボレーションから生まれた新拠点です。保険診療だけに依存しない、新しい地域医療の具現化に取り組みます。加藤氏が手がける、「アパート（住居）＋コミュニティスペース＋地域医療の拠点」が一つになったノビシロハウス亀井野内で、入居する訪問看護ステーションと共に、地域医療の拠点としての役割を担います。高齢者と若者が暮らすノビシロハウスのコミュニティスペースに

は、トップスペシャルティコーヒー専門店「カフェ 亀井野珈琲」とコインランドリーがあり、すでに多世代が“ごちゃまぜ”で過ごす地域交流拠点となっています。在宅医療を中心に行う悠翔会のクリニックが加わることで、医療や介護の枠からはみ出した、“市民が勝手にソーシャルワークしていくようなプラットフォーム”（加藤氏）の構築に貢献したいと考えています。

【クリニックの概要】

■東京都新宿区／悠翔会在宅クリニック新宿

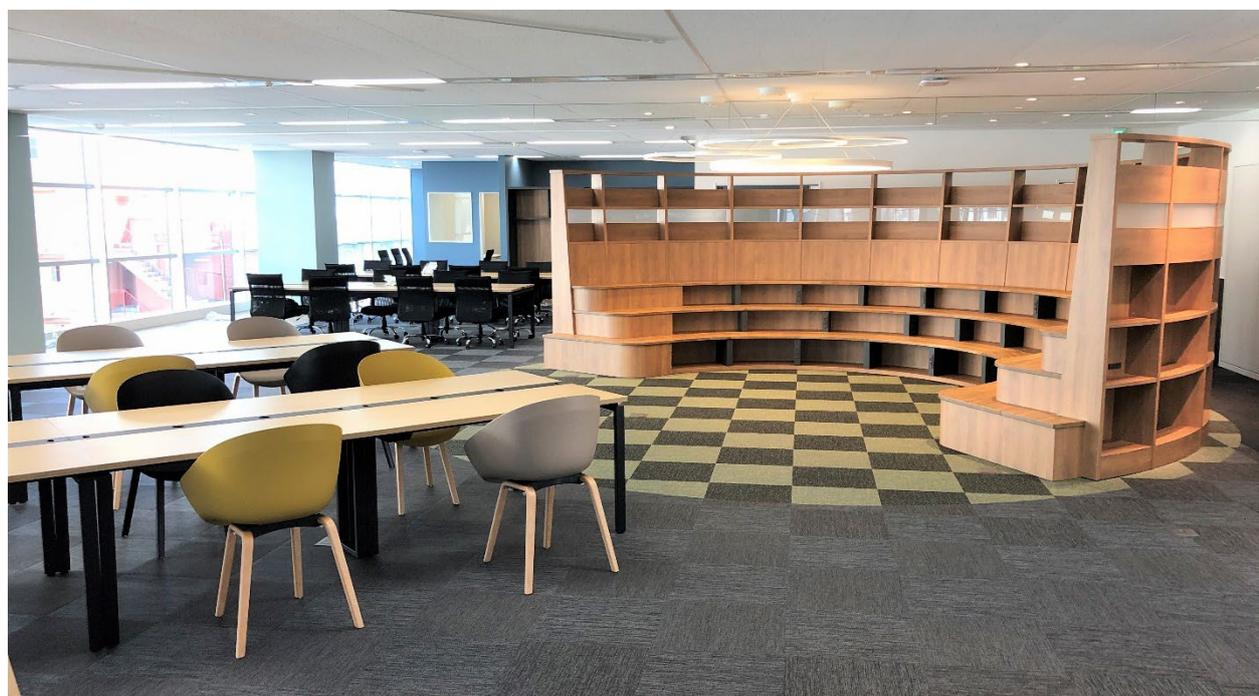
既存の「悠翔会在宅クリニック早稲田」と「悠翔会在宅クリニック渋谷」とを統合し、新宿区南部に移転のうえ、「悠翔会在宅クリニック新宿」として開設します。2 クリニックの職員を集約することによりマンパワーと専門性を高め、診療体制を強化いたします。さらに、クリニックが地域の多職種の交流拠点として機能することをめざしています。統合前の「悠翔会在宅クリニック早稲田」の院長・田鎖志瑞が、新院長に就任します。



受付から臨むフリーアドレススペース



会議スペース



地域交流拠点としての活用が期待されるコミュニケーションスペース

〈田鎖志瑞院長より〉

お一人おひとりの患者さんにできるだけ安心してご自宅での生活を送っていただきたい、そして、その方らしく生き抜いてほしいと願っております。そのために、わたしたちにできることは何でもさせていただきたいと思っております。「住み慣れた場所で、自分らしく最期まで生き抜く」ことは簡単なことではないかもしれませんが、だからこそ、遠慮なく不安や悩みを打ち明けていただき、わたしたちも一緒に考えながら共に歩んでまいりたい。一人では心細くても誰かと一緒なら少しは明るい気持ちになれるかもしれない、そんな存在になれば、これ以上のことはないと思います。

住所：〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-5-12 FORECAST 新宿 AVENUE 9F

TEL：03-6380-1752

FAX：03-6380-1753

訪問エリア：新宿区・文京区・中野区・豊島区・渋谷区の全域、千代田区・杉並区・世田谷区の一部

診療開始：2022年7月1日

URL：<http://www.yushoukai.jp/clinic/shinjuku/>



悠翔会在宅クリニック新宿のスタッフ。前列左から3人目より、院長の田鎖、常勤医の宗勇人、風間敏男、事務長の奥秋将

■神奈川県藤沢市／ノビシロクリニック藤沢

「アパート（住居）＋コミュニティスペース＋地域医療の拠点」が一つになったユニークな“ごちゃまぜアパート”、ノビシロハウス亀井野内に開設するクリニックです。株式会社あおいけあ（代表取締役＝加藤忠相氏）とのコラボレーションで、クリニックは地域医療の拠点としての役割を担います。藤沢市民として、自らも同地域で生活する渡部寛史が院長を務めます。



クリニック外観とスタッフ



クリニック内部

〈渡部寛史院長より〉

人には一人ひとりそれぞれの人生の物語があります。在宅医療は、そうしたそれぞれの人生の物語を大切にしながら、患者さんの「生きる」を医療という専門性を活かして支えることだと考えています。診療を通じていい対話を積み重ねながら、クリニックのメンバーはもちろん、地域のさまざまな方と協力しながら、この先の物語を一緒に紡いでいければと思っています。患者さん一人ひとりが最期まで自分の人生の主人公でいられるよう、チーム一丸となってサポートさせていただきますので、どんな希望でもおっしゃっていただければと思います。

住所：〒252-0813 神奈川県藤沢市亀井野4丁目5番地8 ノビシロハウス亀井野 North 棟 2A

TEL：0466-47-7605

FAX：0466-47-8505

訪問エリア：藤沢市、横浜市戸塚区・泉区の一部

診療開始：2022年7月1日

URL：<http://www.yushoukai.jp/clinic/fujisawa/>



ビシロクリニック藤沢のスタッフと加藤氏。左端が院長の渡部、中央が事務長の木戸昂明、右端が加藤氏

【医療法人社団悠翔会 (<http://www.yushoukai.jp/>) について】

医療法人社団悠翔会は、首都圏近郊に 18 拠点（東京都 9、埼玉県 3、神奈川県 2、千葉県 4）ならびに愛知県に 1 拠点、鹿児島県に 1 拠点、沖縄県に 1 拠点の全 21 拠点にて、約 6,700 名の在宅患者さんへ 24 時間対応の訪問診療を行っています。

「チーム在宅医療」の理想を追求し、超高齢化した首都圏、ならびに医療資源の少ない地域で暮らす人々を支えます。最期まで自宅で過ごしたいと願うすべての人の思いに応えるため、介護事業者の方々とも協力しながら、「安心できる生活」「納得できる人生」の実現に向けて全力でサポートします。

■ 本件に関するお問い合わせ先

医療法人社団悠翔会 広報担当

メール：pr@yushoukai.jp